

2016
秋・冬号

トライアングル

発行日／平成 29 (2017) 年 2 月

発行／一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会 発行責任者／松上利男 編集／中川博
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内
TEL 06-6763-3785 FAX 06-6763-3759 E-mail osaka-chifukukyo@giga.ocn.ne.jp

支援スタッフが語る私の夢 その実現に向けて……………1
第35回スポーツフェスタ 2016 大阪 ……………2

●ぶらり施設訪問記●

社会福祉法人育夢 はぐくむ 生活介護事業所糸をかし……………3

●ちょっとつばきリレー●

第2若葉ホーム 古梶しをり ……………3

●部会・委員会報告●

障害者支援施設部会……………4

平成 28 年 7 月～12 月 活動報告 ……………4

職業指導員として

岩本 亜紀 (加島友愛会 Link)

私は就労支援の事業所で、障がいのある方が一般就労するためのサポートをしています。私自身は、産休・育休を経て、今も周りの方々の支えに感謝しながら勤務をしています。私の夢は、障がいのある方々が「働く喜び」をごく普通に感じられるようになることです。そのためには、送り出した人達には社会人として「働き続ける大変さ」やそれを支えてくれる家族、職場の方への「感謝」を感じられるよう“人とのつながりの大切さ”を伝えていきたいです。



より良い支援を目指して！

吉村 周一 (隆光学園)

虐待事件を耳にする度に大きな衝撃を受けます。「なぜ虐待が起きるのか!？」日々の支援から切り離す事ができないのが課題です。自分が行う支援が、「本当に良いのか？」と自問自答しています。現状に満足せず、日々の支援を振り返る事が、「より良い支援」の第一歩に繋がっていると思っています。今後より良い支援の実現の為に、施設で生活される利用者の方の安全確保と支援力向上の一翼を担う存在になりたいです。



支援スタッフが語る私の夢 その実現に向けて

偏見や差別の無い社会の実現を目指して

高原 良太 (茨木学園)

相模原の事件を受け、障がい者に対する偏見や差別的な思想が改めて問題視されるようになりました。今思い返すと、私も大学で福祉を学ぶまでは、彼らを特別な存在と感じていたように思います。現在私が勤務する茨木学園では、利用者の社会参加を方針に掲げ、様々な活動に取り組んでいます。入所施設の是非はありますが、まずは閉鎖的にならず、地域とのコミュニケーションを積極的に図ることが、障がい者への理解に繋がっていくのではないのでしょうか。私は、障がい者に対する偏見や差別の無い社会の実現を、今後も目指し続けたいと思います。



福祉の世界で、世界最高をお届けしたい！

坂本 雅春 (堺みなみ)

私は福祉の仕事に就く前、大阪の某有名テーマパークで働いていました。そこで学んだホスピタリティやエンターテインメント性など、利用者さんの支援に通ずるものが沢山あり、私の支援者としての考え方のベースになっています。私は、今後も利用者さんに「楽しみ」を提供し続ける事の出来る支援員でありたいと思っています。そして、その楽しみの経験の積み重ねが、利用者さんのより良い生活に繋がればと願っています。



知的障がい者のバリアフリーの推進

正田 大輔 (熊取療育園)

知的障がい者は特性によって困難な部分やその対応も様々であることから、バリアフリーが進んでいません。しかし、小さな工夫で、多くの知的障がい者が過ごしやすい社会の創設は可能です。その実現の為に自分ができることはまだまだ少ないですが、協会活動に参加させていただき、施設から様々な情報を発信し「知ってもらう」ことで、共生・共助の社会づくりに向けて一歩ずつ頑張っていこうと思います。



第35回スポーツフェスタ2016大阪

「大会スローガン」この感動をわかちあおう！

平成28年10月8日(土)・
9日(日)・15日(土)・16日(日)

世界中が大いに盛り上がったリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの熱気がまだ冷め止まぬ昨年10月、知的障がい者のスポーツの祭典「第35回スポーツフェスタ2016大阪」が、2100名を超える選手と多くのボランティアの参加の下、盛大に開催されました。

今回私は編集委員として、メイン会場である「ヤンマースタジアム長居」を取材させていただきましたが、選手が競技の際に見せる真剣な表情や、表彰台で誇らしげにメダルを下げ万歳三唱している姿を目の当たりにし、「この感動をわかちあおう！」の大会スローガンの通り、多くの感動を共有することができました。

パラリンピック等により、障がい者スポーツが世間でも広く認知されるようになりましたが、スポーツフェスタに関しては残念ながら参加者が年々減少傾向にあります。「トライアングル」を通じ、一人でもスポーツフェスタに関心を持ってもらえるよう、編集委員一同これからもより多くの情報を発信し続けて参る所存です。第36回大会は、ぜひ会場まで足をお運び下さい。

(茨木学園 高原良太)



地域公演 人形芝居「ぬくぬく座」

社会福祉法人 ^{はぐくむ} 育夢 生活介護事業所 糸をかし ～生き生きはじけて変・身・心!!～

豊中まつり
ちんどん「てんてこまい座」

ホーム「うららのお宿」前
こんにやく販売

豊中市服部寿町3丁目18番12号

取材日：平成28年

12月19日（金）

取材者：熊取療育園 正田 大輔

かしま障害者センター Link

水津 由依



糸をかしは社会福祉法人育夢^{はぐくむ}が運営する生活介護の事業所で、人形芝居「ぬくぬく座」、ちんどん「てんてこまい座」、手作りこんにやく工房「糸こんにこん」、その他外部講師を招いての書道や即興楽団活動など多彩な取り組みを行っています。今回は芸術表現活動を中心に管理者の西口敏江氏にお話を伺いました。

主な取り組み

平成7年、障がいのある人達の働く拠点、そして家以外で仲間の集う場所、楽しいことをする場所の創設を目的に糸をかし作業所を設立。障がいの可能性を探る活動として人形芝居「ぬくぬく座」が誕生しました。福祉施設や教育機関で多数の公演を行い、吹田メシアター人形劇コンクール（全国大会）で3回の入賞歴を持つ実力劇団として成長しました。そして更なる表現活動として平成12年ちんどん「てんてこまい座」が誕生、地域商店や、市や福祉施設から依頼を受けてイベントのチラシ配りやPR活動なども行っておられるとのこと。手作りこんにやく工房「糸こんにこん」では手練りにこたわり、機械練りにない食感が多くの方の好評を得て、地域の飲食店で調理販売され、贈答用セットなども人気です。取材に行った際も沢山のこんにゃ

くの出荷準備の作業をされていました。

表現活動と個の成長

糸をかしの活動では個性や天性の持ち味を表現することの大切さを強く意識されており、障がい特性に合わせて利用者全員が様々な場面で活躍しています。一人一人が場面や役割に責任を持ち、集団の中の「個」を強く意識することで自信が付き、個人の自己成長が促され、表現することの楽しさや素晴らしさを感じてもらっているそうです。

お客様を目の前にしての表現活動は評価がダイレクトに伝わります。その緊張感や良かった時の喜びが利用者にとってやりがいになっているのだと感じました。稽古風景では、利用者一人一人が表現者であり、オンとオフの切り替えをしながら稽古を行っており、プロであるという意識と高い集中力をもって取り組まれていることが伝わりました。

スタッフ、利用者そして地域と、共に歩み、夢を育み、一緒に成長しながら様々な出会いや縁、絆という「糸」を大切に。つながりあわせてこられた「糸をかし」型にはまることなく自由に、ありのままに精一杯自己表現することの大切さや素晴らしさを教えていただいた施設訪問となりました。

ちょっとつぶやき... リレー

第2若葉ホーム 古梶しをり
私は平成18年10月から社会福祉法人和光福祉会のホームの世話人として働いています。

知的障がい者の支援に携わる経験のなかった私は、最初の1年間は利用者に対する支援の方向性が全くわからず、一人ひとりの性格や個性などをなかなか掴むことができずに戸惑うことが多く、自分との葛藤の毎日でした。

月日が経つにつれ、研修会に参加する機会を頂き、管理者や職員から利用者に対しての支援への助言を頂きながらホームの利用者に向き合い、自己成長させていたのだように思います。食事場面や身の回りのことなどに対して上手く伝えることが難しく、繰り返し同じことをお話しするといった毎日ではありましたが、今では、言葉遣いや人と関わる時の姿勢、そして思いやりの気持ちなどが自然に作られ、利用者自身の喜びや自信につながっていることを感じさせて頂いています。

これからも利用者一人ひとりの心の声に耳を傾け「やりがい」を感じながら...

今回は
北摂杉の子会の
作業療法士
小林哲理さん
に
お話しします





【施設長会】

年4回を基本に開催している施設長会は、「施設長のための」会議です。

「施設長は施設に一人しかいないので、この会では同じ立場の者同士で忌憚なく意見を話し合いたい。」との言葉のもと、同じ立場の者同士だからこそ、何でも話せる場になる。情報は瞬時に手に入れられる時代ですが、デジタルな情報ではなく血と熱がかよっている情報が交換できることを念頭に開催しております。

「施設長会では、どんな話、どんな質問でもOK、ただし『ここだけの話』は守ること」「幹事会」

現場の職員の方に、交流と意見の交換を目的に年4回の会議と施設見学を基本に開催しています。協会を通じて多くの仲間と知り合い、それぞれの想いや、悩みを共有することで明日への元気を育むことができる場でありたいと思っています。

また、入所施設だけでなく各方面に見学にかがいで多面的に見識を増やすことができる機会でもありたいと思います。

*

*

他にも、皆さんからいただいた企画は柔軟に取り入れていきたいと思っています。多くの意見（参加者）が、活動の生命線といながら取り組んでおります。

皆様のご参加お待ちしております。

（部会長 木村勝也）

平成 28 年 7 月～12 月 活動報告

7 月

- ・（社福）北摂信愛園へ機関紙掲載記事取材（6 日）
- ・障害者支援施設部会施設長会（11 日）
- ・地域支援部会（グループホーム）（11 日）
- ・役員会（15 日）
- ・障害者支援施設部会幹事会（26 日）
- ・地域支援部会（短期入所）（29 日）
- ・（社福）四条堰福祉会「津の辺」研修会講師として役員 2 名派遣 障害者支援施設部会 木村部会長・北村副部会長（30 日）
- ・機関紙「トライアングル」2016 春・夏号発行

8 月

- ・児童発達支援部会（入所）（9 日）
- ・役員会（19 日）
- ・権利擁護委員会（29 日）
- ・障害者支援施設部会幹事会（30 日）

9 月

- ・児童発達支援部会（入所）施設見学（月の輪学園）・事例検討会（13 日）
- ・障害者支援施設部会施設長会（15 日）
- ・障害者支援施設部会幹事会（16 日）
- ・役員会（16 日）
- ・北摂信愛園虐待防止委員会全体会議における外部委員に役員 1 名派遣 障害者支援施設部会 木村部会長（18 日）
- ・地域支援部会（グループホーム）（23 日）
- ・日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会幹事会医療ケア研修会（29 日）

10 月

- ・「第 35 回スポーツフェスタ 2016 大阪」前日準備（7 日）
- ・「第 35 回スポーツフェスタ 2016 大阪」（8 日～9 日、15 日～16 日）
- ・児童発達支援部会（入所）栄養士研修会（13 日）
- ・地域支援部会（グループホーム）施設見学（（社福）障友会エリアサポートグループ）（14 日）
- ・地域支援部会（グループホーム）施設見学（特別養護老人ホームかんなのさと）（20 日）
- ・理事会、役員会（21 日）
- ・地域支援部会（短期入所）施設見学（熊取療育園）（25 日）
- ・日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会施設長会研修会（26 日）
- ・平成 28 年度全国会長・事務局長会議（27 日～28 日）
- ・障害者支援施設部会幹事会施設見学（熊取療育園運営グループホーム）（31 日）

11 月

- ・平成 28 年度新任職員研修（7 日）
- ・障害者支援施設部会幹事会施設見学（エコール KOBÉ）（7 日）
- ・権利擁護委員会施設見学（北摂信愛園）及び情報交換会（8 日）
- ・地域支援部会（グループホーム）（15 日）
- ・障害者支援施設部会幹事会施設見学（月の輪学園）（22 日）
- ・役員会（25 日）
- ・第 38 回スポーツフェスタ 2016 大阪」反省会（28 日）
- ・障害者支援施設部会 木村部会長 津久井やまゆり園へ弔問・献花（28 日）

12 月

- ・近畿地区施設長会役員会（5 日）
- ・障害者支援施設部会施設長会（6 日）
- ・第 39 回近畿地区知的障害関係施設長会議（7 日～8 日）
- ・機関紙「トライアングル」編集会議（9 日）
- ・支援スタッフ委員会幹事会（9 日）
- ・日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会施設長会施設見学（総合支援施設みずほ・おおぞら）（14 日）
- ・役員会（16 日）
- ・（社福）育夢へ機関紙掲載記事取材（19 日）
- ・近畿地区施設協会障害者支援施設部会役員会（19 日）
- ・近畿地区会長・事務局長会議（21 日）

● 事務局長に就任しました ●

この度、安本副会長兼事務局長が退任をされました。後任として 11 月より事務局長を務める事になりました中川博です。どうぞ、宜しくお願いいたします。以前は、会員施設である障害者支援施設で勤務しておりました。

今後は事務局として、会員の皆様にサービスを提供する側になります。まだまだ不慣れで不安もありますが、会員の皆様のお役に立てるように頑張っております。

今後とも、ご支援・ご協力くださいますよう、宜しくお願いいたします。



編集後記

今回の「トライアングル」の編集には、支援スタッフ委員会のメンバーにも手伝ってもらいました。色々な意見を取り入れながら今後も作成していければと思います。（編集委員）